



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222



発行人

こぐま福祉会
「そら」編集委員会<http://www.koguma.ed.jp>

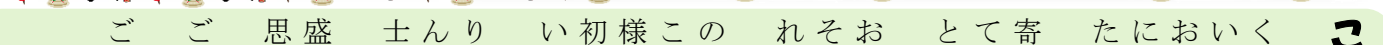
新年のご挨拶申し上げます

「こぐま福祉会」創設36周年目を迎えます。これまでの多数の利用者の皆様方、地域の方々、そしていろいろとご支援いただきました方々に對し「心から感謝とお礼」を申し上げます。そして4年後の「40周年」に向けて、さらなる充実と発展をお約束したいと、新年を迎えるにあたり、一段の進境を新たにいたしております。

近年、地球上の自然環境を初め、国際的政治や文化、そして人類の生活様式や思考(考え方)など大きな変化の時期を迎えていると感じますが、皆様方はいかがでしょうか。

特に私は、中でも「子どもたちの変化」(体力・行動・思考・社会性など)が気になっているのが現状です。「気になる子」(発達障害・及びその疑いがある子)の急増です。またこれは子どもだけではなく、大人も含め、人口の5〜6%から何と7〜8%に急増していると専門家が口をそろえて「警鐘」を鳴らしていることです。何が要因かは明確ではありませんが、恐らく生活様式の変化(IT化・食生活などを中心に)が、国際的に課題として挙げられているようです。(民俗性の消滅か?)

私たちは、日本民族・東洋人として、世界に誇れる文化を持っていますが、果たしてどうなるのか、これから真剣に考えていく必要がありますね！
(理事長 大熊猛)



こぐまもちつき大会

12月17日(日)、雪の散らつく中、元氣にもちつき大会を行いました。利用者の皆様や日頃お世話になっている地域の皆様にもたくさんお越し頂きました。

小郡ロータリークラブより、寄贈して頂いたもち米を使って、たくさんのおもちをつくることができました。

子ども達は、元氣いっぱいにおもちをついて、とても美味しそうに食べる姿がたくさんみられました。

うすや杵を使った昔ならではのもちつきも、ご家庭で行うところも減りました。保護者の皆様にとってもなつかしい、又は初めての体験になったのではないのでしょうか。

また、小郡消防団第6分団より消防車の乗車体験もあり、みんな笑顔で気分はもちろん消防士！

子ども達にとって楽しいこと盛りだくさんの一日になったと思います。

たくさんのご参加ありがとうございました☆

(もちつき係 大庭)

ご寄付ありがとうございました

・小郡ロータリークラブ様

・大板井区長様

・大板井公民館長様

心の窓



外来
たっちゃん
竜矢くん



今から9年前の1月、竜矢は誕生しました。「無事に産まれた心」と思っていたらその日のうちに救急車で運ばれ、いろいろと検査をした結果、先天性心疾患が見つかりました。病気が見つかったからはショックで泣く日々でした。しかし、その現実を受け止め、体調管理に気をつけて子育てをしてきました。

根治手術を終えた後、発育が気になり、こぐま学園にお世話になっております。担当の先生の熱心な指導のおかげで声をかけられるとうなずくだけだった竜矢が、今はその日にあった出来事を一生懸命文章で伝えようとするようになりました。ジャンプができるようになったといいな。と思いを伝えると毎回のようにはトランポリンを跳ぶ練習をしてくれ、ジャンプができるようになり、今では大好きな遊びの1つとなりました。お箸ももう少しでしつけ箸を使わずに食べられるようになりそうです。本当に本当に感謝しております。そして担当以外の職員の方も子どもの名前を知っており、笑顔で挨拶して

くれ、外来療育の私達親子はお友達がいないのでとても嬉しく思っています。

家では年中のしつかり者の妹と年少の元氣一杯で甘えん坊の弟、2人のお兄ちゃんです。時々ケンカもするけれど、大人になっても仲良く助け合いながら生きていくとくれるといいなと思っております。学校など外での竜矢は愛されキャラで「たっちゃん」といろいろな方に声をかけてもらい、優しく接してもらっています。そういう場面を見ると感謝の気持ちで一杯になり、涙が出そうになっています。

以前は同級生との成長の差を少しでも縮めようと必死でした。しかし今は竜矢の『生きる力・生命力』を信じ、自分のペースで成長をし、1人で出来ることを1つでも増やして『働く大人』になってくれるといいなと思っております。成人するまであと11年。今までのいろいろな思い出がありますが親子共に支え合いながら成長していけたらと思っております。

(竜矢の母)



こぐまLINE



受付 田中

皆様こんにちは。事務所で受付事務をしております田中と申します。事務所女性陣は12月からベスト・ブラウスにキュロットの制服になりました。「銀行の窓口みたい」や「いいですね」等と言って頂き、少し気恥ずかしさもありながら受付に立っています。ほぼ毎日受付にいますが、自分の事をお話する機会はありませんのでこぐまラインを通して少し知っていただければと思います。

私は久留米市田主丸町出身です。田主丸は植木とフルーツの町で、田舎ですが耳納連山と筑後川の間にありとても素敵な所です。実家は田主丸の山の麓にあり、小さい頃から季節の果物は時期になると大抵家にあり食べ放題。また、両親は植木屋なので遊ぶなら必然的に外で遊ぶ事が多く、野山を駆け回り木や葉っぱや草などでおままごとをしたり、木登りを沢山したりするおてんば娘でした（お気に入りの木があるくらいでした）。そしてその活発さは小学校ではサッカー部に、中・高校生では陸上部といったスポーツに結びついていき、9年間スポーツ少女でした。この頃に忍耐を覚えた

と思います。

そんな私には娘が1人おります。縁あってこぐま学園に入職する際に、1歳だった娘は一緒にこぐま学園の託児所「子どもの家」で昨年3月までお世話になりました。はじめは保育園に通園しています。はじめは保育園に送って行くと号泣していたのですが、夏にはすっかり慣れ、迎えに行くとき大抵外に出て虫取りするお兄ちゃんと一緒に遊んでいたりと、顔に泥をつけたままだったり、冬になっても暗くなる寸前まで外にいたる事が多いようで私に似て・・・いや、私以上におてんば娘かもしれません。

以上の事を知って頂くと、いつも受付にいるイメージとは異なった印象をもたれる方もいらっしゃるかと思います。自分が受付に合っているかどうかは分かりませんが、私は利用者の方や保護者の方から頂く挨拶や笑顔に元気を頂き受付に立っています。受付事務を目指すきっかけの一つは、病院に行った時の優しい対応で、私もそんな風になれたらと思った事からでしたが、逆に目に見えない元気になる頂きものが多く、この仕事に就いて本当に良かったなと感じております。

今後も常に笑顔で、皆様のお出迎え・お見送りができますよう努めてまいります。何かご不明な事がございましたら、いつでもお声掛けください。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

第2回 マラソン大会開催!

10月31日(火)、「ゆう・はぐ・しろくま」のマラソン大会を行いました。昨年度から始めたマラソン大会。今年度も小郡市の陸上競技場をお借りして実施しました。子ども達はトラック一周の400メートルをそれぞれの方法で走りました。ゴールを目指して一歩ずつ前に進む姿や勇気にとても感動しました。また今年は子ども達の競技の後に保護者競技の800メートル走を実施し、その迫力やスピードに子ども達もスタッフもみんなで見入るほどでした。

これからも、子ども達のチャレンジを応援していきたいと思っています! (マラソン大会係 園田)



大きなお芋が掘れました!

11月上旬、「ゆう・はぐ・しろくま」の子ども達が、毎年恒例の芋ほりを行いました。沢山掘れるかな?とドキドキしながら掘っていくと、大きなお芋がヒョッコリと顔を出しました。大きなお芋を前にして、子ども達、保護者の方々に満点の笑顔が見られました。また畝作りでは地域の山村様、伊藤様にご協力いただきました。誠にありがとうございます。また来年も、子ども達の喜びと、達成感に満ち溢れた笑顔が見られるといいなと思います。

(児童指導員 牟田珠美)



クリスマス会♪

12月21日(木)、こども支援部のクリスマス会を行いました。今年はおどろおどろしグループの歌と合奏でスタート。次に、くわがたグループの合奏にあわせ、みんなも手作り楽器を奏でたり歌ったりしました。「ゆう・はぐ・しろくま」の最年長グループの子ども達が、恥ずかしそうにしながらも立派に演奏する姿に大きな成長と喜びを感じました。みんなが楽しく歌ったり踊ったりしていると鈴の音が聞こえ、サンタさん登場! (商工会の皆様と市のマスコット『オリリン』『ヒコリン』)に目を輝かせて見つめる子ども達。プレゼントをもらい、たくさん触れあう事もできて大満足。会場が笑顔で溢れ、温かい雰囲気の中、終える事ができました。西日本新聞民生事業団より、ご寄付頂いたケーキもみんなでお食べしました。

ご協力いただいた皆様に心よりの感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。 (クリスマス会係 北村)

ご寄付ありがとうございます

- ・久留米こども天使園様
- ・西日本新聞民生事業団様



尾久保研修所

もちつき・クリスマス会

12月23日(土)、「尾久保研修所もちつき&クリスマス会」を開催しました。ここ数年、寒かったり、雨天だったり、あまり天候に恵まれませんでした。が、お客様から「今年は雨男、雨女がおらんやっただけいな」と言われるほど、暖かなお天気でのイベント開催となりました。利用者様とご家族・地元やその他地域の方、ボランティアの方を併せ、120名ほどのお客様をお迎えし、皆様のご協力、十六日の餅を雑煮やぜんざいとして堪能頂きました。午後からのスタンプ手作りのクリスマス会も好評でした。

(尾久保研修所 梅野)



成人式

12月4日(月)、生活介護事業所『べあクラブ』と『愛らんど』の成人式をコミュニケーション棟にて行いました。今年度は3名の方が成人を迎えられました。

成人式は、入江事務長の祝辞に始まり、スパークリングワインでの乾杯、成人を迎えられるまでを振り返るスライドショー、記念品の贈呈、成人を迎えられた利用者様から保護者の方への花束のプレゼントなどを行いました。

利用者様の成長された姿に胸が一杯になられ、涙ぐまれる保護者の方もいらつしやいました。新しく成人を迎えられた利用者様のこれまでの成長とこれからの人生の門出を祝う、感動的な成人式となりました。 (生活支援員 井口)





報告とお知らせ

CDS職員研修会参加報告

11月10(金)～11日(土)、『全国児童発達支援協議会 中四国・九州ブロック職員研修会(CDS)』が大分県で開催されました。

『支援を必要とする子ども達が地域で豊かに生きる』というテーマのシンポジウムに、当福祉会からも演題発表を行いました。子ども達が「世界はおもしろい」と感じられるような療育の中での取り組みや変化について発表し、他施設との情報交換も行い、充実した2日間となりました。今後のよりよい支援に繋げていきたいと思っています。(児童指導員 立山英恵)

PT・OT合同学会報告

11月11日(土)～12日(日)に宮崎で開催された理学療法士・作業療法士九州合同学会に、こぐま福祉会から理学療法士の伊藤と作業療法士の高山が演題発表を行いました。

全体の発表数は300演題を超え、参加者の数も1300名を超える大きな学会で発表することができ、とても貴重な経験となりました。また高山の発表では、「お子様や保護者の方が自宅で出来る取り組み」という部分で評価をいただき、優秀賞に選出されました。九州で活躍している理学療法士や作業療法士と意見や情報交換を行い、様々な思考に触れることができた。多い時間となりました。(作業療法士 高山)

園内研修報告

こぐま福祉会園内研修を11月29日(水)に開催しました。今回は「前進」というテーマで、演題発表も新たな取り組みや事業についての報告も多く、少しずつ変化し、前進しているこぐま福祉会であると感じました。

また、大熊理事長の基調講演では、こぐま福祉会が掲げる「総合療育」についての講演があり、創立当初からこぐま福祉会が大切に行っている理念を確認することができました。こぐま福祉会の職員としてあるべき姿を考える機会となりました。よりよい療育・支援を提供するために次年度はより充実した園内研修を企画したいと思っています。(研修委員会 田中亮)

第8回発達支援セミナー報告

12月2日(土)、九州歴史資料館にて約100名の参加者のもと開催いたしました。今回は『肢体不自由児・重症心身障害児に対する発達支援』をテーマに、特別講師として四天王寺和らぎ苑の榎勢道彦先生をお招きし、「重度な障害を持つ子ども達の能力とは」についてのご講演とこぐま学園スタッフによる講演やパネルディスカッションを行いました。今回のパネルディスカッションでは、こぐま学園を利用されている保護者様にもご登壇頂き、貴重なご意見を聞かせて頂く機会になりました。今後も様々な内容のセミナーを企画して参りたいと思います。(研修プロジェクトチーム 木下)

就学学習会のお知らせ

以下の日程と内容で就学学習会を行います。参加対象者は、これから就学を迎えられるお子様の保護者の方です。特に、平成31年度就学予定のお子様の保護者の方は、是非ご参加ください。

第1回 3月12日(月)

「就学決定までの流れと現在の教育制度について」

第2回 4月20日(金)

「保護者様による経験談」

時間 10時～11時30分

場所 未定

※場所は決まり次第お知らせ致します。

※申込用紙にご記入の上、受付までご提出ください。詳しくは、担当スタッフ、又は相談員までお尋ねください。(相談員 福富)

行事予定

1月 🎉🎊🎋🎌🎍🎆🎇🎈🎉

5日(金) 鏡開き

18日(木) 避難訓練

2月 🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷🍷

17日(土) 避難訓練

Work Step

就労セミナー

22日(木) べあクラブ

ボーリング大会

3月 🎉🎊🎋🎌🎍🎆🎇🎈🎉

7日(水) 避難訓練

べあクラブ社会体験

16日(金) ゆう お別れ遠足

22日(木) 新契約児説明会

28日(水) 就学お祝い会

29日(木) ～31日(土)

新年度準備のため休園

職員ユニホームについて

11月1日(水)より福祉会職員全員、ユニホームの着用を開始しています。以前より、ご利用の皆様から「誰がスタッフか分かりにくい」とのご意見を頂いていた事、また様々な外部の方の来園も多くなり防犯上の事を考慮し、ユニホームの着用と致しました。ユニホームを着用する事で、身の引き締まる緊張感もあり、今まで以上に、ご利用して頂いている皆様に対し「質」の高い支援を目指して行きたいと思っています。(事業部長 木下)

新入職員紹介

戸田 涼子(相談員)

松浦 あかね(こども支援部 保育士)

退職者紹介

濱本 知子(こども支援部 保育士)

山下 裕士(尾久保研修所 所員)

